

I. 保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することができる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども

II. 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 風の子農園運営
- 分室活用の充実
- 子育て支援活動の推進と地域福祉の向上
- 食育指導の充実
- 職員の資質向上
- 障がい児保育の充実と実践研究活動の促進

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III. 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢発達に応じた指導計画を立案し保育の提供を行った。 ・一人ひとりの発達、家庭環境を捉え保育を行った。 ・衛生面、環境等に注意し子どもの興味、関心を引き出すような取り組みを心がけた。
2	風の子農園運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・畑を通して成長の様子、色、数、虫など様々な事への気づきにつながっている。 ・収穫した物をクッキングすることで、食べ物への関心や家庭での会話にもつながっている。

3	分室活用の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の促進として、産休明けから受け入れる。 ・保育体験は将来親になる若い人たちに子育ての尊さを知ってもらう。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・普通の民家の雰囲気の特徴で、産休明けからの受け入れに取り組んでいる。 ・高校生の保育体験は長期休みを利用して訪れ、園児と触れ合い、今後の進路にも役立っていると共に子育てに関心を持った。延べ人数は100名を超えている。
4	子育て支援活動の推進と地域福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、障がい児保育など保護者のニーズにこたえる。 ・地域における子育て支援の充実・推進に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育は午後8時まで行っており保護者のニーズに応じている。 ・子育て支援として地域に出向いていくことで（訪問保育）地域の方々との交流も出来ている。様々な活動を取り入れ子どもの発達を促し、子育て力を育て、保護者が楽しめる活動を多く取り入れている。
5	食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・食を通して家庭、地域社会との関わりを深め、子どもの心と身体の育成を促す。 ・風の子農園の野菜を生かし料理を作る等保育との関わりを持つ。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・畑で収穫した野菜を給食に提供したり、一緒にクッキングを行い、料理する、食する事の楽しさを知らせることができた。 ・文化祭では給食コーナーを設け、試食や園児の給食を年齢ごとに展示し、保護者、地域の方々に食育を知らせることができた。
6	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加し保育力を高める ・「たくましい子を生み育てる保育の実践と研究」を進める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・4園共通として「子どもの発達と身体リズム運動遊び」として取り組み、講演会、園内研修に参加した。 ・4園の5歳児がリズム運動交流会を行った。 ・一人一研究はテーマを設け取り組んでいる。
7	障がい児保育の充実と実践研究活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・発達程度に応じた保育ができるよう家庭、医師、専門機関と連携を持ちながら障がい児保育の充実をはかる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児と認定された子はいないが、気になる子が各クラスにいる。奥州市の発達支援センターや関係機関と連携を持ちながら、保護者とも面談を行い共通理解をもって取り組んでいる。